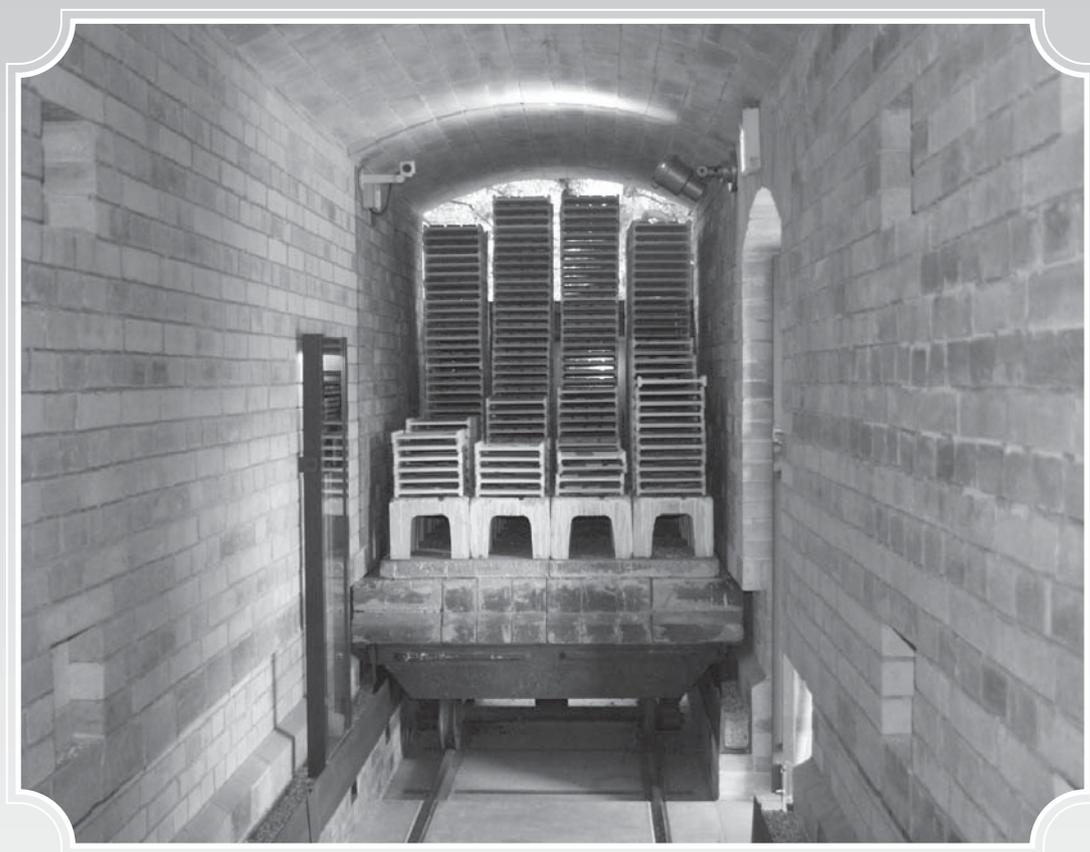


「モノづくりは、人づくり」



写真提供：INAXライブミュージアム

伊奈製陶（INAX、現：LIXIL）のトンネル窯：同社は、1937年自社独自技術で、大量のタイルを同時に焼成しえる80～100mにわたるトンネル窯を作り上げた。1953年には、同社の伊奈正夫氏と実験計画法の田口玄一博士が、この窯で、初めて「ロバストデザイン」の実験を行い、世界中の研究者に知られることになった。以来、この技術をいかした窯が自主製作され、写真の窯（1947年築炉、2006年部分移築・展示）は2005年の火止まで、日本各地の著名なビルの外壁用モザイクタイルを焼造。

◆内容◆

- 1 巻頭言 リンナイ(株)代表取締役会長
中部品質管理協会理事 内藤明人
- 2 我が社のQC活動 ～大橋鉄工(株)～
- 3 協会だより

『品質こそ我が命』

リンナイ株式会社
代表取締役会長 内 藤 明 人



中部品質管理協会も創設以来 40 周年を迎えられたと聞き、日本の高度加工工業国として発展してきたその礎をつくって来られたと思い、その意義の尊さを評価するものです。

日本は地球の中でアジア大陸の東端の島国として生きてきました。日本は工業産業国として必要な原材料、燃料資源に乏しく、ソフトを中心とした高度加工工業立国として明治以降発展してきました。

明治開化以降、英国、米国等先進産業国を参考にして工業国として栄えてきましたが、その初期は水に恵まれた木曾三川等に水力発電所が数多く出来たことで、濃尾平野には加工産業が発達して、綿織物、絹織物、毛織物等繊維産業を中心として発展してきました。また、三菱重工業が長崎に造船所をつくりましたが、昭和に入り名古屋に戦闘機、爆撃機をつくる航空機産業を立ち上げました。

一方、豊田佐吉は自動織機製造を立ち上げ、自動織機発明の特許料で次の成長産業の自動車産業を始めました。

この様に名古屋を中心とした尾張・三河・岐阜地区は産業に最重要な水力発電に恵まれたことで、近代産業である航空機、自動車産業が振興して日本におけるトップクラスの近代産業地域に発展してまいりました。その一つが三菱航空機製造所です。自動車産業は繊維産業を基として発展してきており、事故をおこしても地上で止まるので人命には直接関係するケースが少ない。一方航空機産業における品質管理は部品 1 つが不良でも事故を起こしたら乗員が死んでしまうことから、不良ゼロ即ち「ZD」（ゼロディフェクト）が基本です。自動車産業は不良を少なくし品質を良くすればよいとの考えですが、航空機産業は ZD が絶対条件だといわれています。米国の航空機の工場を見学しましたら「ZD」と書いてあるのに驚きました。ジャンボ航空機ボーイング 747 は 500 人乗せてもう 30 年たちますが初期不良による事故は一度もありません。航空機産業こそ品質管理の極限です。

弊社もガスを中心とした総合熱エネルギー機器の製造・販売を行っていますが、不可欠なのが「安全・安心」に対する取り組みの強化です。一度でも事故がおきると尊い人命や財産を失うことになりかねません。お客様にとっては一台が 100%。購入されたリンナイ商品に不良があれば「リンナイ」というブランドへの信頼を失ってしまいます。弊社では「品質こそ我が命」を品質基本理念とし、航空機産業同様に不良ゼロ「ZD」を合言葉に不良品を出さない仕組みづくりに取り組んでおります。

中部品質管理協会 40 周年に当り日本の製品は不良ゼロ「ZD」の哲学を進めば今後とも世界最良の工業国として発展するものと確信しています。

《シリーズ》我が社のQC活動～ 大橋鉄工株式会社

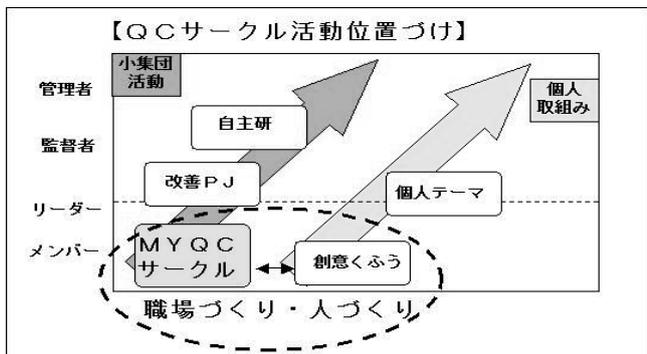
1.会社概要

大橋鉄工(株)は1917年に創業し自動車用の小物精密部品を製造しています。従業員は338名、条鋼材とパイプをベースに塑性加工、溶接、熱処理、表面処理、組付けまでの工程を一貫生産しています。

2.活動の経緯

弊社ではQCサークル活動を1977年に開始、活動当初はサークルが自主的に取組む活発な活動でしたが、次第に「成果主義」と「やらされ感」が強くなり、様々な活性化方策を打つも活動は低迷、いわゆる“苦しい活動”となった為、1997年に活動を中断しました。中断当初は「楽になった」と喜んでいましたが次第に「チームワークの低下」、「社員のスキル低下」など様々な問題が発生。このままではいけないとのトップの強い思いにより2005年にQCサークル活動を再開しました。

活動の名称を「みんなの為、自分の為に行う活動であってほしい」との思いを込めて「MYQCサークル活動」と名づけ、人材育成と職場の活性化を目的として新QCサークル活動を開始しました。



3.MYQCサークル活動

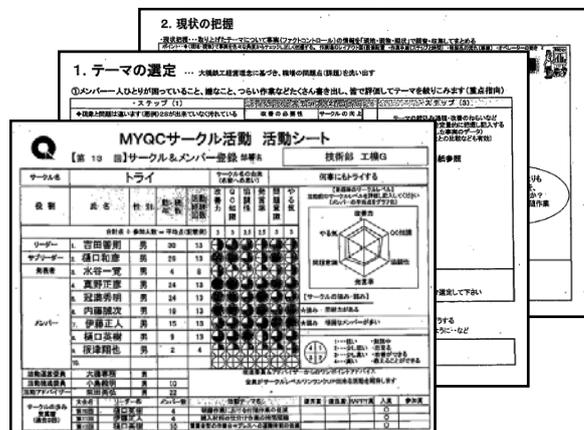
活動は製造部門だけではなく事務・技術部門を含めた全部署を対象に行っており、年間2テーマ(半期1テーマ)に取組んでおります。

活動組織は各サークルに運営委員(部長)・推進委員(GM)・アドバイザー(GL)が付き支援・指導を行っています。又、社長が委員長を務め役員・部長で構成される運営委員会をはじめ、各役割での委員会を毎月開催をして情報共有、活性化方策を検討しています。

【活性化方策】

- ①問題解決活動に合わせた専用活動シート使用
- ②活動ボード設置による活動ステップの見える化
- ③社長・役員による「テーマ相談会、中間相談会」
- ④全社大会(年2回)にて優秀サークルの表彰
- ⑤推進委員による社内勉強会の開催 など

特に2つの相談会はサークルが役員から直接、アドバイス・指導を受けることができる機会でありコミュニケーション向上と共にサークルメンバーの成長の場となっています。



MYQCサークル活動シート

その他として更なるレベルアップのために2010年より社内大会優秀サークルは社外QCサークル大会へ積極的に出場しています。出場サークルは社外発表で貴重な経験を積むと共に他社の優秀事例を聴講できサークルの更なる成長に繋がっています。



第13回大会優秀賞 “トライサークル”

4.活動成果と今後の進め方

QCサークル活動を再開し7年が経過しましたが職場の活性化、人材育成など少しずつですが効果を実感しています。特に問題解決手法の理解が全社的に深まり、問題発見能力が飛躍的に向上しました。今後は、改善活動(PDCA)と日常管理(SDCA)の更なる強化にも取り組んでいきます。弊社はこれからも、QCサークル活動を良いひとづくりのための活動として、トップをはじめ全社員で取組んでいきたいと思えます。

後半の2大行事、まもなく案内、募集開始します

1. 平成24年度「経営塾」始まります！！

昨年好評でした、好川塾長自ら指導の「ものづくり」人材育成を主眼においた経営塾。今年度はトヨタ自動車(株)TQM推進部 古谷主査の協力も得、来年2月に開催予定。今回は、現場指導も予定しております。10月中に案内、募集します！

2. 平成25年3月1日、スタッフ・管理者改善事例発表大会開催します！

例年開催のマネジメントやSQCの手法を活用した改善事例発表大会、今年度は3月1日、ウィンク愛知で開催します！おって詳細案内予定！

furuyaの品質SAIKOU

「TQMの本質」

筆者も若いころは技術者として、それなりにSQCなどの数式に取り組んでいたが、マネジメントを勉強するようになってからは、全く無縁となってしまった。ところがあるとき、 $B=f(P, E)$ と表記されるクルト・レヴィン(社会心理学者)の式と出合った。BはPとEの関数として表わすことができるというだけのもので、至ってシンプルだが忘れられない式となっている。

この意味するところが興味深い。B(Behavior)は一人ひとりの行動、P(Personality)は個人の資質、E(Environment)は個人の置かれた環境、をそれぞれ表す。すなわち、ある環境(E)におけるある人(P)の行動(B)には、関係性(意味)があるということを示している。

クルト・レヴィンは「社会的葛藤の解決(昭和29年発刊)」において、2つの児童のグループに、それぞれ民主的、専制的の異なるタイプの教師(リーダー)をつけるという実験を行っている。その結果、リーダーの醸し出す雰囲気とそれに基づく「思考および生活の様式」が、児童たちの関係(友好的なのか、敵対的なのか、など)を支配するということを実証した。

翻って、QCサークル活動のねらいは、個人の能力向上(P)と明るい職場づくり(E)にある。PとEを追求することにより、一人ひとりの品質意識の高揚と行動の変革(B)へとつながり、企業体質が強化されていく。究極的に人を動かすものは組織の風土・文化であり、それをつくるのは組織の長(リーダー)なのである。クルト・レヴィンの式は、まさにTQMの本質を表している。

【編集後記】 今号表紙のために、取材で初めてINAXライブミュージアムを訪問。そこには同社の歴史だけでなく、地元常滑の歴史、明治から昭和にかけての日本の産業史やライフスタイル、また、古代から現代までの世界のタイルの種類と変遷が見てわかるような展示までありました。

大変中身の濃い、そして何度も訪れたいくなるミュージアムです。

当地の産業遺産の宝庫、お薦めです！(細)

☆工芸品のような便器⇒



(発行元)

中部品質管理協会

〒450-0001 名古屋市中村区那古野1丁目47-1 名古屋国際センタービル11階

TEL (052) 581-9841 FAX (052) 565-1205

<http://www.cjqca.com>